

第 15 回 代議員会会議資料

日時 2023 年 4 月 17 日(月)
午後 7 時 00 分～午後 7 時 30 分

場所 鹿児島商工会議所ビル 4 階 第1会議室
(鹿児島市東千石町 1-38)

鹿児島県病院企業年金基金

HP:ID usrkkikin PW bikikn2288

第 15 回 代議員会次第

1 開 会

2 理事長 あいさつ

3 議 題

(議決事項)

議案第1号 第3期監事選挙について

(報告事項)

報告第1号 第3期選挙結果について

報告第2号 2022年度(令和4年度)年金資産運用結果(速報)について

(その他)

4 閉 会

議案第1号 第3期監事選挙について

令和5年4月4日に公示された第3期**監事選挙**については、定員2名(選定代議員1名、互選代議員1名)のところ立候補者は各1名でありました。

本代議員会でご承認いただき、当該候補者を当選人といたしたくお諮りするものです。

鹿病基金発 第13号(公示)

令和5年4月14日

鹿児島県病院企業年金基金

選挙長 石山 広泰



監事選挙における立候補者について

令和5年4月17日執行の 監事選挙の立候補者は、下記のとおりである。

なお、下記の者の被選挙権の有無を調査したところ、有資格者であることを確認しました。

記

定数2名

候補者氏名	所属事業所の名称
重久 善一	重久公認会計士事務所
土橋 美子	(医)慈恵会 土橋病院

報告第1号 第3期代議員選挙結果について

【代議員選挙】

令和5年3月6日に公示され4月3日に執行された第3期**代議員選挙**については、理事長が選任した選挙長、鹿児島県病院企業年金基金事務長 石山 広泰 氏の下で手続が進められました。

互選代議員は、定数8名のところ立候補者が8名であったため投票は行わず3月27日選挙長より理事長へ当選人決定報告がなされました。

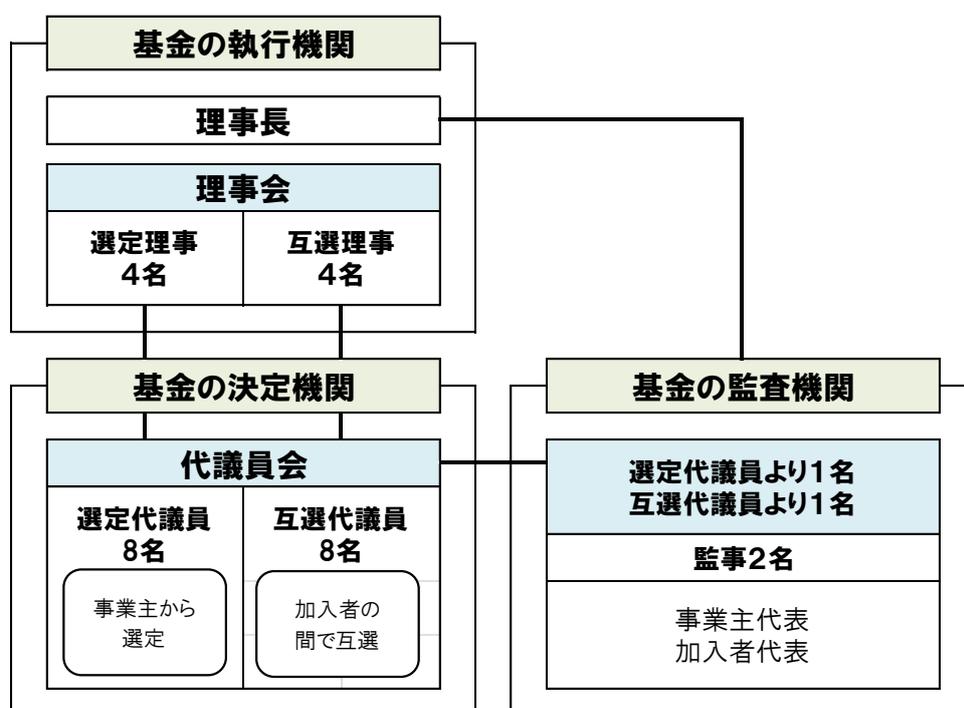
選定代議員については個別に指名された者がなかったため、74事業所中74事業所から委任を受けた、選定委員会委員長 松元 典昭 氏が選定委員会を開催し8名を選定、先の互選代議員と合わせ、4月4日付で選挙結果を公示すると共に、ご本人に当選(選定)通知しました。

【理事選挙】

令和5年4月4日に公示され4月10日に執行された第3期**理事選挙**についても、石山 広泰 選挙長の下で手続が進められました。立候補者は選定代議員4名、互選代議員4名で定数を超えなかったことから投票は行わず、4月10日選挙長より理事長へ当選人決定報告がなされ、4月11日付で理事選挙結果を公示しました。

【理事長選挙】

令和5年4月12日に公示され4月17日に執行された第3期**理事長選挙**についても、石山 広泰 選挙長の下で手続が進められました。立候補者は1名で定数を超えなかったことから投票は行わず、4月14日に選挙長より理事長へ当選人決定報告がなされ、4月17日に選挙結果を公示し、ご本人に当選通知しました。



鹿児島県病院企業年金基金
理事長 小田原 良治 (印)

代議員選挙の結果について

令和5年4月3日執行の代議員選挙において、下記の者が互選代議員に当選、並びに選定代議員として選定委員会より選定されました。

記

	当選人の氏名	所属事業所の名称
選定代議員	小田原 良治	(医)尚愛会
	八反丸 健二	(医)慈圭会 八反丸リハビリテーション病院
	今村 英仁	(公益財団法人)慈愛会
	吉井 八郎	(医)吉祥会 吉井整形外科内科中央病院
	日高 正八郎	(医)仁風会 日高病院
	牧角 寛郎	(社医)聖医会 サザン・リージョン病院
	重久 善一	重久公認会計士事務所
	乙顔 伊久磨	鹿児島県病院企業年金基金
互選代議員	寺田 歩	(医)栄和会 寺田病院
	斉藤 稔	(医)健誠会 湯田内科病院
	土橋 美子	(医)慈恵会 土橋病院
	岩城 政秋	(医)松城会 隼人温泉病院
	永田 智行	(医)永光会 あいらの森ホスピタル
	新井 尚希	(社会医療法人)愛仁会 植村病院
	川井田 善太郎	(社会医療法人)青雲会 青雲会病院
	小田原 歩	(医)尚愛会

鹿児島県病院企業年金基金
理事長 小田原 良治 (印)

第3期理事選挙の結果について

令和5年4月10日執行の理事選挙において、下記の者が当選されました。

記

	当選人の氏名	所属事業所の名称
選定理事	小田原 良治	(医)尚愛会
	八反丸 健二	(医)慈圭会 八反丸リハビリテーション病院
	日高 正八郎	(医)仁風会 日高病院
	乙顔 伊久磨	鹿児島県病院企業年金基金
互選理事	寺田 歩	(医)栄和会 寺田病院
	斉藤 稔	(医)健誠会 湯田内科病院
	岩城 政秋	(医)松城会 隼人温泉病院
	新井 尚希	(社会医療法人)愛仁会 植村病院

鹿病基金発 第 16 号(公示)
令和 5 年 4 月 17 日

鹿児島県病院企業年金基金
理事長 小田原 良治 ⑩

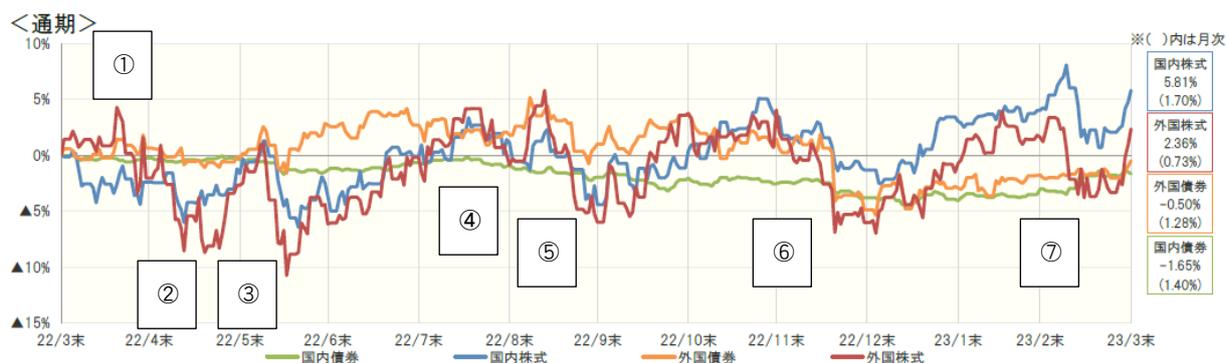
理事長選挙の結果について

令和 5 年 4 月 17 日執行の理事長選挙において、下記の者が当選されました。

記

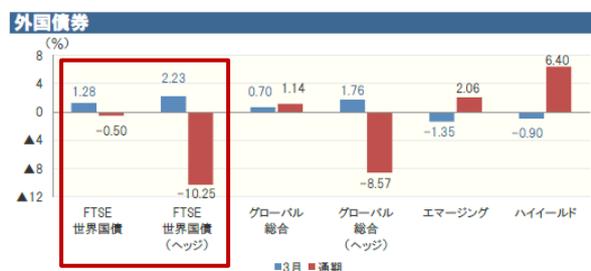
当選人の氏名		所属事業所の名称
理事長	小田原 良治	(医)尚愛会

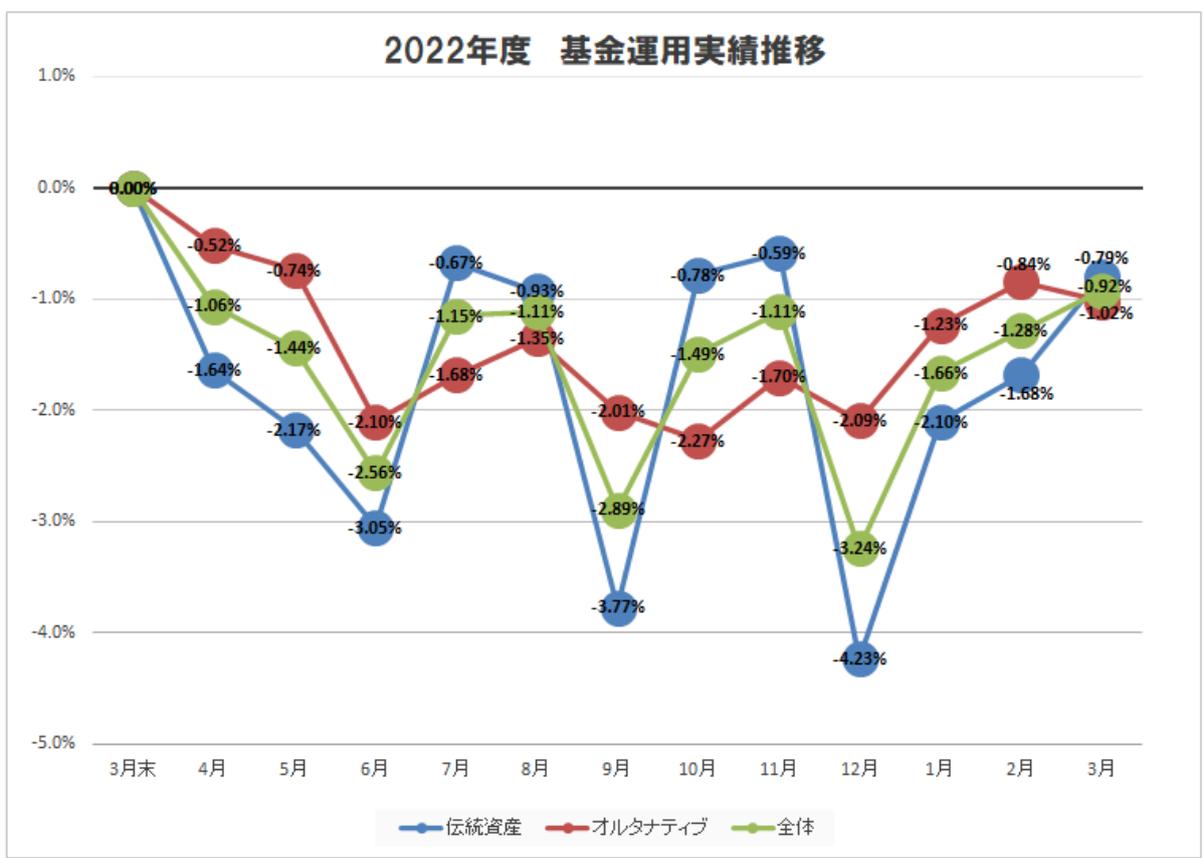
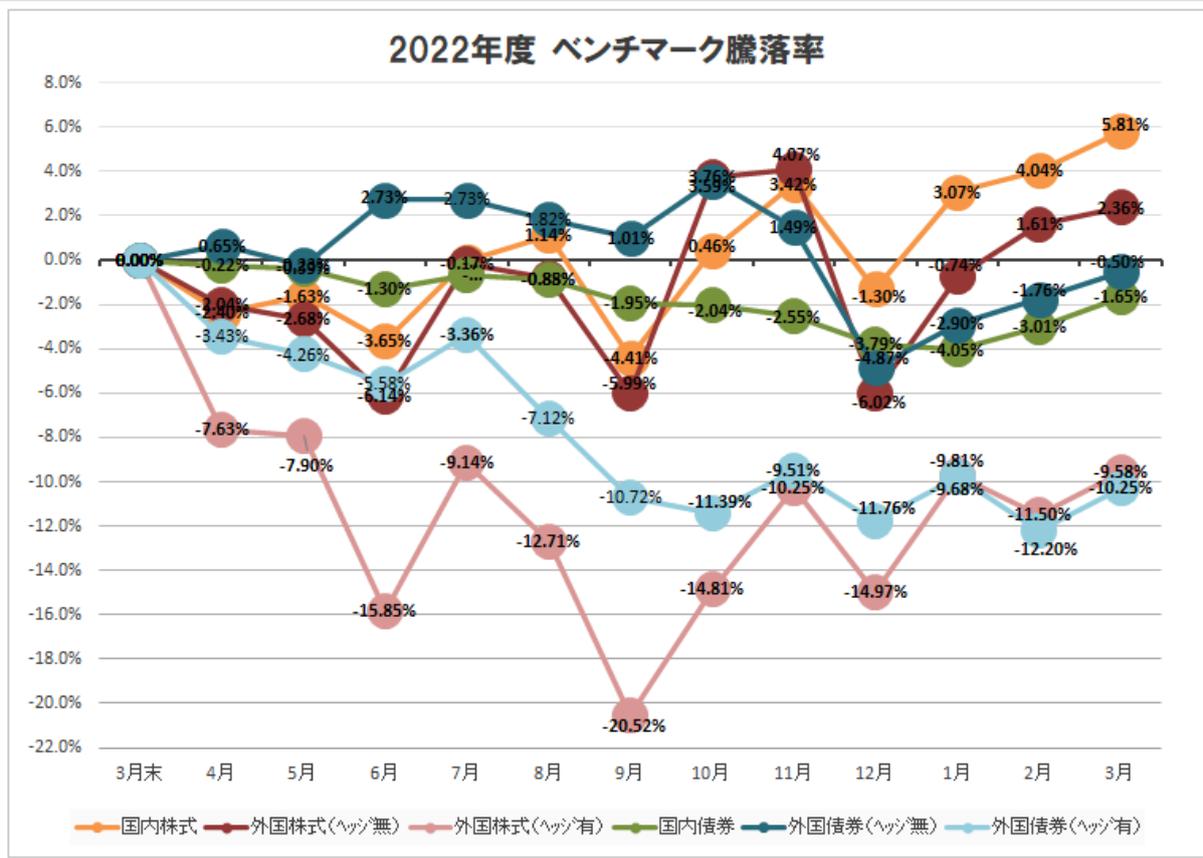
報告第2号 2022年度(令和4年度)年金資産運用結果(速報)について



2022年度は、ロシアのウクライナ侵略に伴い国際商品価格が上昇、世界的なインフレが加速しました。欧米の金融当局は更なるインフレ高進を食い止めるべく大幅な利上げを実施しました。上の表で茶色の線は外国株式ですが、①IMF(世界通貨基金)が今年の成長見通しを下方修正した4月下旬、②米FOMCが0.5%の利上げを決定した5月上旬以降、③米FOMCが0.75%の利上げを決定した6月中旬以降、④パウエルFRB議長が金融引締め強化を示唆した8月下旬、⑤米FOMCが0.75%の利上げを決定した9月下旬、⑥米FOMCが利上げ幅縮小するも最終到達点引上げを示唆した12月中旬、⑦米シリコンバレーバンク破綻、スイスの銀行クレディスイスの実質的破綻が起きた3月上旬以降、それぞれ急落しているのが見てとれます。

一方で、唯一利上げを行わなかった日本との金利差が拡大することで、2022年3月末に121円であったドル円が10月末には148円と22%も円安に振れました。外国債券・外国株式の円ベースの収益率はその分マイナスが相殺されていて、実際の現地通貨ベースの下落幅はこのグラフの数字より10%程度大きいとお考えください。





<2022年4月～2023年3月>【生保確定前】

資産		内訳		前期末時価総額 <2022年3月末> (千円)	全体構成比 (%)	時価総額(千円) (2023年3月末)	全体構成比 (%)	修正簿価平残 (千円)	総合収益 (千円)	修正総合収 益率(%)	時間加重収 益率(%)
伝統資産 (リバ ランス 運用+ 代替 投資)	国内債券 (12.5)	リバランス(3)	標準スタイルミックス	196,568	2.8%	92,116	1.3%	177,575	-4,417	-2.49%	-1.38%
		代替投資(9.5)	4ファンド	670,060	9.5%	601,979	8.6%	643,213	-29,471	-4.58%	-
	国内債券小計			866,628	12.3%	694,095	9.9%	820,787	-33,887	-4.13%	-4.03%
	国内株式 (9)	リバランス(6)	個別スタイルミックス	393,440	5.6%	322,231	4.6%	378,271	17,737	4.69%	5.42%
		代替投資(3)	3ファンド	202,908	2.9%	189,601	2.7%	198,008	23,610	11.92%	-
	国内株式小計			596,348	8.5%	511,832	7.3%	576,279	41,347	7.17%	7.61%
	外国債券 (13)	リバランス(6)	標準スタイルミックス	403,455	5.7%	664,622	9.5%	383,321	11,255	2.94%	0.91%
		代替投資(7)	3ファンド	502,431	7.1%	201,754	2.9%	480,948	-24,673	-5.13%	-
	外国債券小計			905,886	12.9%	866,376	12.4%	864,270	-13,418	-1.55%	-1.47%
	外国株式 (13.5)	リバランス(6)	個別スタイルミックス	387,485	5.5%	325,510	4.6%	352,455	-11,152	-3.16%	-2.78%
代替投資(7.5)		4ファンド	553,512	7.9%	270,817	3.9%	486,432	-20,623	-4.24%	-	
外国株式小計			940,996	13.4%	596,327	8.5%	838,886	-31,776	-3.79%	-2.76%	
短期資産(2)	短期資産小計		102,828	1.5%	465,913	6.6%	490,591	-31	-0.01%	0.00%	
合計(50)			3,412,686	48.4%	3,134,542	44.7%	3,590,813	-37,765	-1.05%	-0.79%	
オル タ ナ テ ィ ブ	債券戦略(11)	3ファンド	797,399	11.3%	680,812	9.7%	683,032	-13,732	-2.01%	-1.40%	
	損害保険(0)	1ファンド	1,510	0.0%	1,540	0.0%	1,452	818	56.33%	56.01%	
	国内株式(5)	2ファンド	359,651	5.1%	218,548	3.1%	304,516	-18,106	-5.95%	-1.80%	
	マルチストラテジー(20)	3ファンド	1,427,179	20.3%	1,028,807	14.7%	1,330,236	-9,813	-0.74%	-0.58%	
	外国株式(5)	2ファンド	372,594	5.3%	668,763	9.5%	398,074	-3,831	-0.96%	-0.96%	
	短期資産(0)	キャッシュ	1,889	0.0%	599,960	8.6%	105,186	0	0.00%	0.00%	
	小計(41)			2,960,222	42.0%	3,198,430	45.6%	2,822,495	-44,664	-1.58%	-1.30%
一般勘定(9)	1ファンド	674,819	9.6%	677,219	9.7%	675,467	1,689	0.25%	0.25%		
合計(50)			3,635,041	51.6%	3,875,649	55.3%	3,497,962	-42,976	-1.23%	-1.02%	
資産合計			7,047,727	100.0%	7,010,191	100.0%	7,088,776	-80,740	-1.14%	-0.92%	

当基金の年度収益率は▲0.92%、総合収益は▲80,740千円でした。

為替ヘッジ付外国債券・外国株式のファンドについては急激な円安を受け、早い段階で大幅減額あるいはファンドの解約を行いました。該当する9つのファンドで年度収益が▲81百万円となり、基金全体の年度運用収益とほぼ同額となりました。当年度の基金運用の足を引っ張ったのは為替ヘッジポリシーの誤りであったとすることができます。

為替の方向性は理屈通りには行かないため、2023年度は、伝統資産の外国債券の為替ヘッジ比率は概ね10%(2022年度30%)、外国株式の為替ヘッジ比率0%(2022年度10%)でスタートし、為替動向に応じて機動的に運営することといたしました。

また、2022年度はスタートの4月に▲1.06%とつまずき、結果として年間で▲0.92%で終わったため、2023年度の4月は極力マイナススタートとならないよう、伝統資産運用部分の資産配分をこまめに調整してまいります。

足元の状況ですが、昨年4月と同様に、IMF(国際通貨基金)は成長見通しの下方修正を発表しました。米国の利上げは最終局面が近づいたとの見方が多いものの、FOMCは5月に0.25%の利上げを発表する見通しです。インフレが落ち着くのではという観測から今のところ株価急落はありませんが、3月の銀行破綻の問題は尾を引いていて、どこかの銀行が破綻というニュースを引き金に株価急落する可能性はゼロではありません。ゴールデンウィーク中の4月29日から5月7日は実質的に資産配分変更ができないので、4月中は内外株式について防衛的なスタンスで臨む方針です。

【鹿児島県病院企業年金基金 第15回 代議員会 2023年4月17日 資料】